

# 男女共同参画委員会アンケート調査

2015年

- ・目的：本アンケートは、病理医の休職中、離職、復職の実態を把握し、問題点の抽出および対策を講じるための調査である。
- ・休職の定義：1か月以上の休職。今回、産休や育休は休職に含まない。
- ・復職支援プログラム：復職希望病理医に対して1日～1週間程度、病理部門の見学、講義、実習などを提供する。
- ・アンケート期間：4月1日～4月15日の正午
- ・回収方法：香川大学病理診断科・病理部あてのFAX又はE-mail。

対象：日本病理学会認定病院・登録施設(Mail)、  
各支部(Mail)、日本病理学会ホームページ

## セッションA(結果)

質問1 性別 男性 118, 女性 63 (計181)

質問2 年齢 20代 5, 30代 42, 40代 54, 50代 46, 60代  
以上 34

質問3 勤務地 37都道府県+米国

質問4 主たる業務 病理診断157, 研究12, その他12

質問5 病理経験年数 <10年 39, <20年 56, <30年 43,  
<40年 36, 40年以上 7

質問6 病理専門医 病理専門医155, 非専門医26

## 質問7 休職歴、産休・育休の経験

現在休職中 4, 過去休職歴あり 16, 産休後に復帰 22、  
なし 136, 休職+産休 3

## 質問8 同僚で休職歴(産休・育休以外)

あり 85, なし 67

## 質問9 質問8でありと答えた方に休職・離職の理由

子育て 34, 介護 5, 体調 32, 留学 7, その他 13

質問10 産休・育休後に復帰した方あるいは復帰予定の方への質問。復職時の心配事、条件、体験談について。

### ・労働環境の整備

勤務時間短縮、子供の緊急時・通院時のサポート体制、  
当番・オンコール体制の考慮、土・日曜日の解剖免除

・労働支援の整備

院内・院外保育所、学童時の環境整備、家族の支援

・病理医不足

複数病理医体制の構築

・復帰時

復職支援・再教育プログラム

・生涯教育

休日・夜間の勉強会・研修会への参加、学会・研修会のインターネット配信

・学会時の託児所

小学生も対象拡大を希望

・病理医研修中での子育て不安

専門医取得、出産、子育てとの両立、非常勤勤務としての将来

## 質問11 全ての方に質問 自由意見

### ・病理医資格

資格更新の援助、専門医再資格認定、病理医生涯教育の充実

### ・病理医数

マンパワー不足、病理医不足、人手不足、絶対数不足

### ・病理医勧誘

働きやすい環境作り、学生へのアピール、他科からの受け入れプログラム作成

### ・職場環境・待遇

産休後の待遇改善、産休不可能な職場の改善、働きやすい環境作り、上司や同僚の理解

## ・病理医ネットワーク

情報の共有、バックアップ体制、支援プログラム、病理医救済システム

## ・病理学会

プログラムの作成

## ・病理医の復帰

復帰しやすい環境作り、職場・家庭の理解

## ・その他

介護問題、常勤→非常勤(学童への就学時)、非常勤への待遇改善、病理医(医師)への偏見、学会の平日開催

◎所属長への質問; 部門内での休職・離職者の有無  
いる 13, いない 15

# セッションB(現在休職中、離職中の方)

## 1. 休職・離職期間

<6か月 1, 7~12か月 1, 1~5年 1, 6~10年 3 (計6)

## 2. 休職・離職の理由

家族の介護 1, 体調不良 1, 留学 1

## 3. 希望される支援

短時間勤務制度 3, 複数人勤務体制 2, 他の病理医の勤務状況などに関する情報提供 4

## 4. 復職予定

ある 1, ない 2, 未定 3

5. 復職の予定ある方の復職先 前職場 1

6. 復職の予定のない方の復職希望 3



## 7. 復職支援プログラムへの参加希望

希望 5, 参加しない 1

## 8. 病理学会紹介の復職アドバイザーの利用希望

希望 4, わからない 2

## 9. 復職時に相談する個人、利用する機関・企業のサービスや制度の有無

ある 5, ない 1

## 10. 相談先、あるいは利用しているサービス

前職場の上司・同僚 2, 出身大学の教員・同窓生 1, 大学・医師会の復職支援機関 1, 病理学会の求人情報 0, 雑誌の求人情報、インターネット上の就職斡旋サイト 0, 大学や病院個々の求人情報 0, その他 1

## 11. 復職支援プログラムの利用

なし 6

## 12. 自由意見

記載なし

# セッションC(過去に休職、離職したことのある方)

## 1. 休職・離職期間

<6か月 5, 7~12か月 3, 1~5年 10 (計18)

## 2. 休職・離職の理由

子育て 7, 家族の介護 2, 体調不良 4, 留学 4, その他 1

## 3. あった方が良い支援

短時間勤務制度 13, 複数人勤務体制 15, 託児所 8, 他の病理医の勤務状況などに関する情報提供 9, その他 1

## 4. 復職先

前職場 10, 新しい職場 7

5. 復職時にお世話になった個人、役立った機関や企業  
あり 12, なし 6

## 6. 復職時にお世話になった個人、役立った機関・企業

前職場の上司・同僚 11, 出身大学の教員・同窓生 3, 大学・医師会の復職支援機関 0, 病理学会の求人情報 0, 雑誌の求人情報、インターネット上の就職斡旋サイト 0, 大学や病院個々のHPなどの求人情報 0, その他 0

## 7. 復職支援プログラムの利用

しなかった 14, わからない 1, その他 1

## 8. 復職支援プログラムを利用しなかったと答えた方

必要なかった 5, 知っていれば利用したかった 2, わからない 4, その他 2

## 9. 病理学会が紹介する復職アドバイザーがいたら利用するか

利用する 3, 利用しない 3, わからない 11, その他 1

## 10. 自由意見

- 復職までの再教育 (e-learning)
- 専門医試験に必須の解剖・細胞診講習会の e-learning、単位性の導入
- 一人病理医への支援体制
- 支援体制のない病院への援助
- 大都市基幹病院への病理医集中の問題

# 今後の課題

- 勤務体制の充実
- 託児サービスの充実・継続
- 就業継続・復職支援の充実
- 相談窓口の充実
- 講演会・座談会などの提案
- 啓発・広報・ネットワーク構築
- 学生勧誘、病理医育成の継続